

週間漁海況情報—第45号

平成24年11月12日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

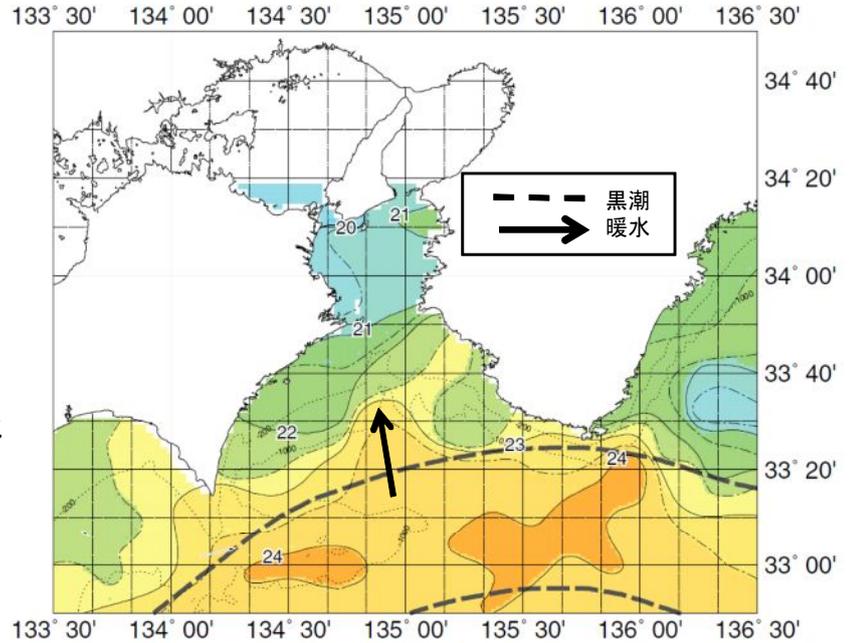
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.11.12）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、23～24℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で19～20℃台、紀伊水道で19～21℃台、海部沿岸で20～23℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から緩やかな暖水流入がある。

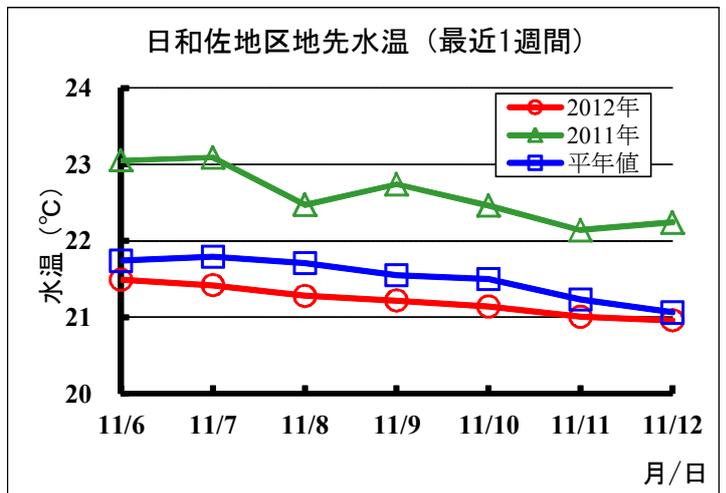
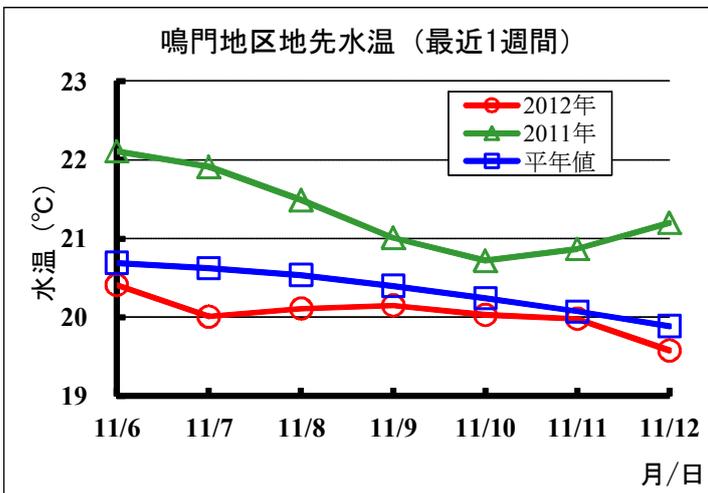


漁業調査船「とくしま」で11月6、7及び9日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層～50m層で「平年並み」の21.1～22.3℃であった。

紀伊水道海区観測結果

観測日		水温					塩分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
11/6, 7, 9	今年値	21.1	21.2	21.5	21.8	22.3	32.5	32.7	32.9	33.2	33.7
	平年偏差	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	-0.4	-0.5	-0.5	-0.4	-0.3
	前年偏差	-1.8	-1.8	-1.7	-1.7	-1.7	-0.2	-0.3	-0.4	-0.4	-0.4

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の19.6～20.4℃、日和佐地区は「平年並み」の21.0～21.5℃、牟岐地区は「低め」～「やや高め」の20.3～21.6℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、中主体にアマダイが0.3トン（1日1隻あたり11kg）、大主体にキダイが1.4トン（同33kg）、大主体にサバフグが0.3トン（同24kg）、水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが0.3トン（同17kg）、中主体にタチウオが0.3トン（同21kg）、アオリイカが0.3トン（同33kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、中主体にマアジが0.3トン（同274kg）、タチウオが0.2トン（同235kg）、小主体にイサキが0.6トン（同552kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、特大主体にカツオが2.7トン、キハダが0.5トン、特大主体にタチウオが0.6トン（同13kg）、紀伊水道で、中主体にサワラが0.5トン（同264kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが28.8トン（同334kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 11月05日～11月11日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	30	317	11	中主体
		キダイ	43	1,410	33	大主体
		サバフグ	12	286	24	大主体
小型定置網	海部沿岸	マアジ	15	250	17	小主体
		タチウオ	15	318	21	中主体
		アオリイカ	10	329	33	
大型定置網	海部沿岸	マアジ	1	274	274	中主体
		タチウオ	1	235	235	小主体
		イサキ	1	552	552	小主体
釣り	海部沿岸	カツオ	-	2,689	-	特大主体
		キハダ	-	477	-	
		タチウオ	48	628	13	特大主体
	紀伊水道	サワラ	15	498	264	中主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	86	28,750	334	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の11月7日～11月13日には、海部沿岸では、延縄で、大主体にサバフグが0.4トン、小型定置網で、アオリイカが0.3トン、カマス類が0.5トン、小主体にタチウオが1.0トン、マルソウダが0.3トン、海部沖合では、釣りで、アオリイカが0.6トン、小主体にタチウオが0.3トン、中主体にマルアジが0.2トン、メジロが12.1トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが34.9トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖において、「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」～「やや高め」の18～19℃台、日和佐地先で「平年並み」の20℃台で推移する見込み。